

資 料 配 付

第 2 回「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨水害の検証を踏まえた  
今後の治水方策に関する懇談会」の開催について

■北陸地方整備局では、新潟・福島豪雨を教訓とした信濃川下流域の河川整備の方向性、及び今後の治水方策に関する議論を行って頂くために、有識者、地域の自治体の代表者からなる「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨水害の検証を踏まえた治水方策に関する懇談会」を設置し、10月31日に第1回懇談会を開催しました。  
このたび、第2回懇談会を以下のとおり開催しますのでお知らせします。

1. 第2回懇談会開催案内

日時 : 平成 23 年 11 月 30 日 (水) 10 時 00 分～12 時 00 分

場所 : 北陸地方整備局 4F 共用会議室

2. 懇談会メンバー

別紙

(報道機関関係者による傍聴、撮影について)

- ・会場設営の都合より、傍聴される方は事前に下記問い合わせ先まで登録をお願いします。
- ・懇談会冒頭の撮影は可能です。
- ・懇談会会場では担当官の指示に従うようご協力をお願いします。

新潟県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省北陸地方整備局 025-280-8880 (代表) (内線 3611)  
河川計画課 課長 村山 英俊

平成23年7月新潟・福島豪雨水害の検証を踏まえた

## 治水方策に関する懇談会の構成

(敬称略、五十音順)

氏名	所属
泉宮 尊司	新潟大学工学部建設学科土木工学教授
笠原 悟	新潟県危機管理監
久住 時男	見附市長
國定 勇人	三条市長
篠田 昭	新潟市長
中井 検裕	東京工業大学大学院社会理工学研究科教授
西澤 輝泰	新潟大学名誉教授
〔座長〕 福岡 捷二	中央大学研究開発機構教授
細山田 得三	長岡技術科学大学環境・建設系教授
丸井 英明	新潟大学災害・復興科学研究所教授

(参考) 平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨水害の検証の実施方法

(1) 第 1 段階：現地検証

学識者を中心とした現地検証チームを設置し、現地で生じた事案の検証作業を行う。

〈現地検証の具体テーマ〉

- a) 気象、水理・水文条件
- b) 16 年豪雨対策の効果、超過洪水の発生状況
- c) ダムが果たした役割
- d) 危機管理（情報、水防、避難）

※現地検証チーム資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/river/gouusuigai/hyousi.html>

(2) 第 2 段階：新潟・福島豪雨水害を教訓とする今後の治水方策の検討

平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨水害の検証を踏まえた治水方策に関する懇談会により、現地検証チーム成果を踏まえて、新潟・福島豪雨水害を教訓とした今後の治水方策等に関して検討し、提言をとりまとめて頂く。

※第 1 回懇談会（10 月 31 日）資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/river/gouusuigai/kondankai/hyousi.html>